

次世代に残すため
 “今”何ができるのか―



富田鯨船保存会連合会会長
 中島組鯨船神徳丸保存会会長
 加藤正彦さん

毎年8月14・15日に開催される「鳥出神社の鯨船行事」。平成28年には、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。「形の無い」文化遺産の伝統をどう守るのか、そして次世代にどう残していくのか、日々尽力する加藤さんにお話を伺いました。



有料
 広告
 掲載
 欄

～創業160有余年の信用と実績 お葬式・家族葬のことなら24時間365日お電話ください～



株式会社 ふじや本店
光倫会館
 ☎0120-114248

■本社／四日市光倫会館
 〒510-0836 四日市市松本町北大谷2015
 【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224
 ■光倫会館 桜ホール
 〒512-1211 四日市市桜町6613
 【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2483
 ■富田光倫会館
 〒510-8014 四日市市富田2丁目3-7
 【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■知れば知るほどおもしろい

鳥出神社の鯨船行事の起こりについて、はっきり分かっていませんが、天明元（1781）年に、御座船（貴人が乗るための豪華な船）の模型が鳥出神社に奉納され、行事を行ったその年が豊漁であったことから始まったと言われています。

富田地区は昔からイワシ漁が盛んで、そのイワシを追いかけて迷い込んだ鯨を獲れば、皮・肉・ヒゲなど鯨のすべてがお金になりました。漁師たちにとって、鯨が獲れることは大きな臨時収入で、今でいうボーナスみたいなものだったんです。この大漁を神様に感謝し、毎年の豊漁を祈る行事が鯨船行事になったようです。

鯨船行事の魅力は鯨と船の攻防です。鯨を追いかけて、逆襲をうけ、再び追いつめて、鯨を仕留めるまでが迫力の演技で再現されています。➤



鳥出神社に奉納する船は4艘あります。北嶋組の“神社丸”、中嶋組の“神徳丸”、南嶋組の“感應丸”、古川町の“権現丸”です。それぞれ、船の横幕や屋根の屋根模様、船の先端の“サガリ”の結び方が異なります。加えて、練り方やそれに合わせて歌う唄も違い、知れば知るほど奥が深い行事なんです。

この鯨船行事は富田をはじめとする北勢地方が発祥の地で、全国でここしか行っていないとても珍しい行事です。

この行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことは、本当に誇らしいです。

■直面する課題と向き合う

ユネスコ無形文化遺産の登録には「この先ずっと残すこと」という目的が含まれています。だから、次の世代へより良い形で残していかなければならないんです。

私は今、四日市大学に協力依頼をしたり、北星高校にコネクションを作ったり、さまざまな糸口を作っておきたいと、若い力の可能性にかけて動いています。伝統行

事や祭礼行事は神様が関係しますし、形を変えずに受け継がれてきたものなので、変化に抵抗があることも当然です。しかし、転換期を迎えた“今”、できる限りのことにチャレンジして、「持続可能な伝統」について日々研究していきたいと思います。

8月放送のCTY「ちゃんねるよっかいち」やCTY-FM「よっかいちわいわい人探訪」でも紹介します。(放送時間は裏表紙へ)

有料広告掲載欄



創業106年の歴史と信頼・実績!

アールデコ

アールデコ

終活のために整理整頓

高く売って万が一の備えに

タンスに眠っているのを 貴金属 時計 忘れていませんか?

0120-928-319

高価買取中

四日市市芝田1丁目6-2(中央通り西詰) 9時~18時(木曜定休)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。